

安全運転（15号）



新潟地方交通共済協同組合
(発行) 事故防止対策室

〔運行管理者・運転者の皆様へ〕

○ 11月末現在の事故発生状況

	追突	バック	交差点	衝突	接触	その他	合計	新潟	山形	秋田	構内事故
R6年度	23	98	10	33	109	15	288	172	90	26	138
R5年度	23	85	19	27	127	22	303	158	90	55	120
対比	0	13	▲9	6	▲18	▲7	▲15	14	0	▲29	18

※ 県別、構内事故数は内数

- 11月末現在、288件(前年同月比-15件)の発生報告がありました。昨年度に比べ、内訳では新潟地区が増加、秋田地区は大幅減少、山形地区は差異無しとなりました。
- 事故内容としては、**後退事故・衝突事故**が多く発生しています。
- 接触事故では、138件中47件(34.1%)が構内等で発生しています。
- 構内事故も多く、288件中138件(47.9%)が発生しています。
- バック事故は**62.3%**(138件中86件)が構内等で発生しています。

「冬の交通事故ゼロ運動」実施中

12月1日(日)～1月31日(金)までの2ヶ月間

適切な車間距離の保持、低速走行、ソフトなブレーキ操作などに注意!!

◎ 12月の安全運転ポイント

○ 気象や道路状況の情報確認の徹底

雪の降り始めは、普通タイヤ車も混在しており事故が多発傾向にあります。

出発前の準備として、運行地域の気象や道路情報など事前に確認しましょう。

非常時に備えた携行品の再確認を!

○ 車間距離・制動距離の十分な確保!

積雪路での制動距離は夏場の2倍以上になり、凍結路ではそれ以上になります。

大型車は先を見通せますが、小型車側では大型車の背後接近により、道幅が狭くなる雪道では焦りを強く感じます。

(あおり、威圧感、恐怖感)

いつも以上に車間距離の確保を!!



※ 当組合では皆様の交通事故防止活動について支援を行っています。講習会、研修など事故防止対策に活用下さい。

連絡先：新潟地方交通共済協同組合 事故防止対策室 甲斐・長谷川 電話025-284-9555

～ プロ意識 みんなが見ている あなたのマナー ～ (令和6年度 当組合 優秀賞作品)

東北第一物流(株) 山口 茂美様

【事故防止重点】接触事故の根絶「よく見る!」安全確認の励行 追突・交差点事故の根絶 構内・後退事故の根絶